

これまでのトライアル事業実績一覧

事業名・概要	
①	<p><Sea&Sea トライアル（異なる船社の神戸港トランシップ）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸港に寄港する異なる船社のスペースを組み合わせ、NVOCC が東南アジア→神戸港→北米の一貫輸送サービスを行う。
②	<p><神戸港での船積み日日程調整による米国到着貨物のピークカット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ工場にて生産した商品を神戸港において一時蔵置し、米国への船積み日を調整する。
③	<p><神戸港での一時蔵置による輸出貨物の到着日調整></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港から釜山港への海上輸送の一部を神戸港で一時蔵置することで、釜山港への到着日を調整する。
④	<p><日本海側における国際海上コンテナ輸送の安定化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外港湾から日本海側へ輸入する国際海上コンテナ輸送を安定化するため、神戸港へ輸入し JR 貨物利用で日本海側の目的地まで輸送する。
⑤	<p><在来船輸送貨物のコンテナ輸送によるリードタイムの改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸港を基点としたコンテナによる中南米向け輸出（横浜港経由）を行う。
⑥	<p><北海道向け貨物の Sea&Rail による釜山港から神戸港への利用転換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜山港経由の輸入貨物を神戸港揚げに転換し、神戸港から札幌までの輸送を JR 貨物にて行う。
⑦	<p><神戸港を拠点とした Sea&Rail による BCP 対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東方面の輸入貨物を神戸港で荷揚げし、神戸貨物ターミナル駅から JR 貨物列車により東京貨物ターミナル駅まで輸送する。
⑧	<p><神戸港を拠点とした Ferry&Rail による BCP 対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国～横浜港の貨物を神戸港へ国際フェリーで輸入し JR 貨物列車を接続して、関東方面に輸送する。
⑨	<p><神戸港を拠点とした Ferry&Rail によるドライバー不足及び BCP 対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出時に神戸港から私有 12ft 鉄道コンテナにて中国へフェリー輸送を行い、輸入時には同コンテナを活用し神戸港までフェリーで輸入し、JR 貨物列車にて目的地まで輸送する。
⑩	<p><フェリーを活用したドライバー不足及び BCP 対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎港～神戸港を結ぶフェリーを活用し、神戸港接続で海外港へ輸送する。
⑪	<p><神戸港 CFS 向けトラックシャトル便></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸港の CFS 向けトラックシャトル便をデイリー運行し、神戸港への貨物搬入を安定化する
⑫	<p><神戸港を拠点とした Rail&Sea によるドライバー不足対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸から神戸港までの輸送を陸送から JR 貨物列車に転換し輸送する。
⑬	<p><神戸 CFS、神戸港を基点とした Rail& Sea トライアル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京 CFS、東京港を基点とした従来の輸送方法から、神戸 CFS、神戸港へ基点を変更し上海へ輸送する。
⑭	<p><神戸港を拠点としたシャインマスカット輸送トライアル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸港を拠点としたリーファーコンテナによる山梨産シャインマスカットの輸出を行う。
⑮	<p><神戸港を拠点とした玄米輸送トライアル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国産玄米を調達、神戸港の定温倉庫にて保管し、香港、シンガポールへ一定量ずつリーファーコンテナで輸出する

※各トライアル事業の詳細は阪神国際港湾株式会社のホームページをご参照ください。